



聖路加國際病院



St. LUKE'S INTERNATIONAL HOSPITAL **2018**

This Hospital Is A Living Organism Designed To Demonstrate In Convincing Terms The Transmuting Power Of Christian Love When Applied In Relief Of Human Suffering.

看護理念

患者の生活の質(Quality of Life)の向上を目指した看護サービスを提供します。

患者の信条・人格・生活・権利を尊重し、患者の自己決定、自立への支援を行います。

社会・医療の変化に対応した看護を提供するために、看護職員の学習活動、研究活動を支援します。

看護の専門職者として主体的に活動することを推進するとともに、個々の能力を適正に評価し育成します。

GO FORWARD

学び、成長して、その先へ。

聖路加国際病院は、1902年の創設からあらゆる人々の生活の質(Quality of Life)の向上に向け、革新的な取り組みや看護サービスを行ってきました。2012年には国際医療施設認証機関JCI(Joint Commission International)の認証を受け、国際的な評価を得るまでになりました。当院では専門職業人としての自覚を持ち、行動する自律性が求められます。その資質の育成のため、院内教育プログラムを充実させ、個人のさまざまなチャレンジを行える環境を整えています。新人教育ではプリセプターとティーチングナース(教育担当者)を中心に全職員がその育成を支援。看護師キャリアのスタートを安心して迎えることができます。また、専門看護師や認定看護師が中心となる検討会を始め、多職種によるチーム医療活動などから自発的にあがる改善策などを柔軟に取り入れる体制があり、現場から組織をよりよく改善することができる、やりがいを感じる環境が整っています。当院は救命救急センターを持つ急性期病院ですが、訪問看護ステーション、産科クリニック、予防医療センターもあり、多様な活動の舞台があります。そんな当院で、看護師としてのあなたの夢を叶えてください。

柳橋 礼子

副院長・看護部長



キリスト教の愛の心が
人の悩みを救うために働けば
その人は生まれ変わったようになる
この偉大な愛の力をだれもがすぐわかるように
計画されてできた生きた有機体がこの病院である



Rudolf B. Fessler
(1933)

病院概要

開設 1901年
院長 福井次矢
所在地 東京都中央区明石町9-1
病床数 520床(第三次救命救急センター)
看護実質配置基準 7対1
急性期補助体制加算 25対1
外来患者数 2,700人/日(平均)

JCI取得

急性期一般病院
東京都災害拠点病院・3次救急
地域がん診療連携拠点病院
地域連携型認知症患者センター

診療科 心血管センター(循環器内科、心臓血管外科)、呼吸器センター(呼吸器内科、呼吸器外科)、消化器センター(消化器内科、内視鏡室、消化器・一般外科、ヘルニアセンター)、救命救急センター(救急部)、小児総合医療センター(小児科、小児外科、ウィルベビークリニック)、プレストセンター(乳腺外科)、腎センター(腎臓内科、腎臓移植内科)、脳・神経センター(神経内科、脳神経外科、神経血管内治療科)、女性総合診療部(一般婦人科、女性外来、産婦人科、生殖医療センター)、リウマチ膠原病センター、リエゾンセンター(心療内科、精神科、精神腫瘍科)、一般内科、遺伝診療部、眼科、感染症科、緩和ケア科、形成外科、血液内科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、腫瘍内科、整形外科、内分泌代謝科、泌尿器科、皮膚科、病理診断科、放射線科、放射線腫瘍科、周術期センター(麻酔科・集中治療室)、臨床検査科

附属施設 聖路加国際病院附属クリニック・予防医療センター、聖路加助産院マタニティケアホーム、聖路加国際病院訪問看護ステーション、聖路加国際病院附属クリニック 聖路加メディローカス



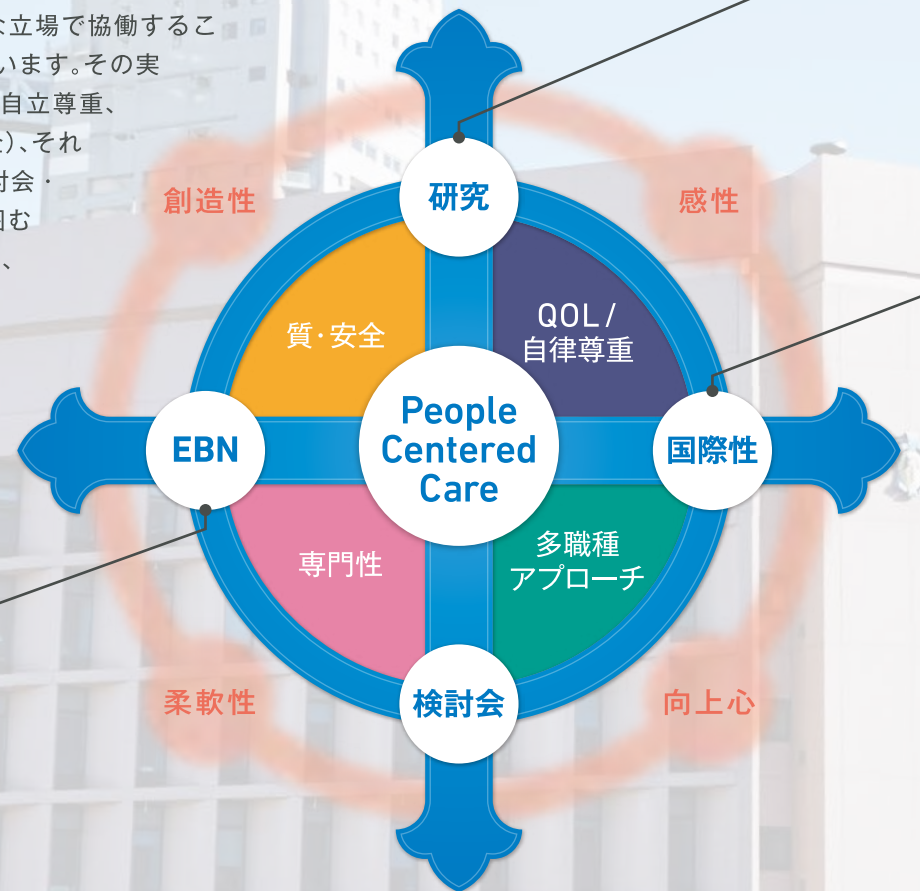
JCIの認証

全14分野1,220項目について医療現場を詳細にチェックする世界基準の医療機能評価。当院は2012年に認証され、2015年の更新審査にも合格しました。

Nursing Professional-Practice Model

(専門的看護実践モデル)

「Nursing Professional-Practice Model」は、聖路加国際病院で提供する看護をモデルに示したものです。当院看護部では、その中心にある「People Centered-Care」つまり市民と看護師(専門職)がお互いの価値を尊重し、対等な立場で協働することを目指して、看護ケアを実践しています。その実現のために看護実践で目指すもの(自立尊重、多職種アプローチ、専門性、質・安全)、それを支え導く活動(研究・国際性・検討会・EBN)を中心に置き、それらを取り囲む「感性・向上心・柔軟性・創造性」は、当院で働く看護師個々が備える能力を示します。そして当院の理念の中心となる“キリスト教の愛の心”が十字架の形に込められています。このモデルを拠りどころに多くの看護師が自分たちの目指す看護を常に考え、“聖路加の看護”を育てています。



EBN

QI活動

当院では医療のあるべき姿の指標としてQI(Quality Indicator)を活用しています。看護部でも“根拠に基づく看護(Evidence-based Nursing)”の提供を目指して、専門・認定看護師と協力してQI指標の設定・開発に取り組み、院内配布物を通して各スタッフへの啓蒙活動も推し進めています。



研究

研究・発表

当院では聖路加アカデミアという全職種のスタッフが参加できる院内学会を年1回開催しており、だれでも発表することができます。業務改善から症例研究まで幅広く対応しており、優秀な発表には院長賞や優秀賞など表彰があります。大学や臨床疫学センターによる研究サポートを受けられるため、若いスタッフも積極的に参加します。また、自分の関連する領域の学会へも参加し、発表しています。



国際性

外国人患者対応・海外研修

外国人患者のケアに加え、海外の優れた看護実践の探求が行われています。国際部のサポートにより海外の学会や研修への参加機会が与えられ、参加した看護師たちは院内に戻ってから得てきた知識等を還元し、活躍しています。

カナダMcgill大学(医療英語研修)

医療英語のほか医療制度の違いや宗教による施設のの違いなど、個性が高い看護実践に触れ学びを深めることができました。今後も医療英語のスキルをさらに磨くことで、外国籍の患者さんへのより良い看護実践にもつなげていきます。



金重 亜子

IMCU 2009年入職
聖路加国際大学 東京都出身

マグネット学会Magnet Conference(Magnet認証取得)

当院で進めているマグネット認証取得に向け、海外での研修に参加して、“聖路加の看護”が世界基準として認められるために必要なことなどを1週間の学会を通して学びました。私たちの看護のレベルが十分に高いことがマグネット認証を取得することで証明できるよう、院内での広報活動などに従事しています。



蛭沼 恵美

10階東病棟 2008年入職
聖路加国際大学 東京都出身

看護教育や看護管理の能力を伸ばす

クリニカル・ナース・エデュケーターとして

院内全体の看護の質の向上に

努めています

教育体制 EDUCATION

みんなで学びあえる 環境づくりに邁進

臨床現場でロールモデルとして業務を行いながら、新人への学習支援やその指導的立場の看護師からの教育実践の相談を受けるなどの活動を通して、個々が成長できる環境整備を行っています。



金子 あや
2006年入職
聖路加国際大学 大学院
千葉県出身

学習者の到達段階を 見極めて助言を行う

教育実践の現場では、現実と理想の差異を客観的に見極め、現状とのギャップを解消するアドバイスをを行うなどしています。学生から若手まで幅広い年代がより学びやすい環境を目指しています。



池田 葉子
2007年入職
聖路加国際大学 大学院
鳥取県出身

より良い看護を自ら 創造する文化づくり

「理論に裏打ちされた患者中心のより良い看護を考え、実践する」という看護文化を育成していきたいと思い、自らの看護実践をまずは行い、教育を通じて伝播するように活動を行っています。



島田 伊津子
2008年入職
聖路加国際大学 大学院
福井県出身

想いを言語化する 大切さを伝える

実践力をより高めロールモデルとして活動しながら、勉強会などを通じて指導的立場の若手看護師へ新人などが主体的な学習を行うようになるための教育方法などを伝える活動を行っています。



中村 加奈子
2003年入職
聖路加国際大学 大学院
東京都出身

さまざまな学びの機会があり、
成長できる環境だと実感

新人プログラムのほか新人向け勉強会や他職種による勉強会など、学びの環境が充実しています。院内研修で看護を続ける勇気が出る言葉をもらったことも。言葉で訴えられない赤ちゃんのサインを読み取るのが重要なNICUで観察力や洞察力を磨き、さらに実践につながる学びを深めていきたいと思います。



秋山 唯

NICU 2016年入職
日本赤十字九州国際看護大学 福岡県出身

たくさんの研修で看護力をつけ、
いずれは学会にも挑戦したいです。

看護師人生の1年目は充実した教育を受けたいと期待して入職しました。毎月行われる新人研修では病棟で触る機会のない機器の使い方なども確実に身に付けることができたり、日々成長できていると感じています。将来は先輩たちのように学会にも参加して、様々な人の意見や考えを吸収していきたいです。



米田 理紗

4階西病棟 2016年入職
聖路加国際大学 千葉県出身

成長できていると確信できる

充実した研修と現場での指導で

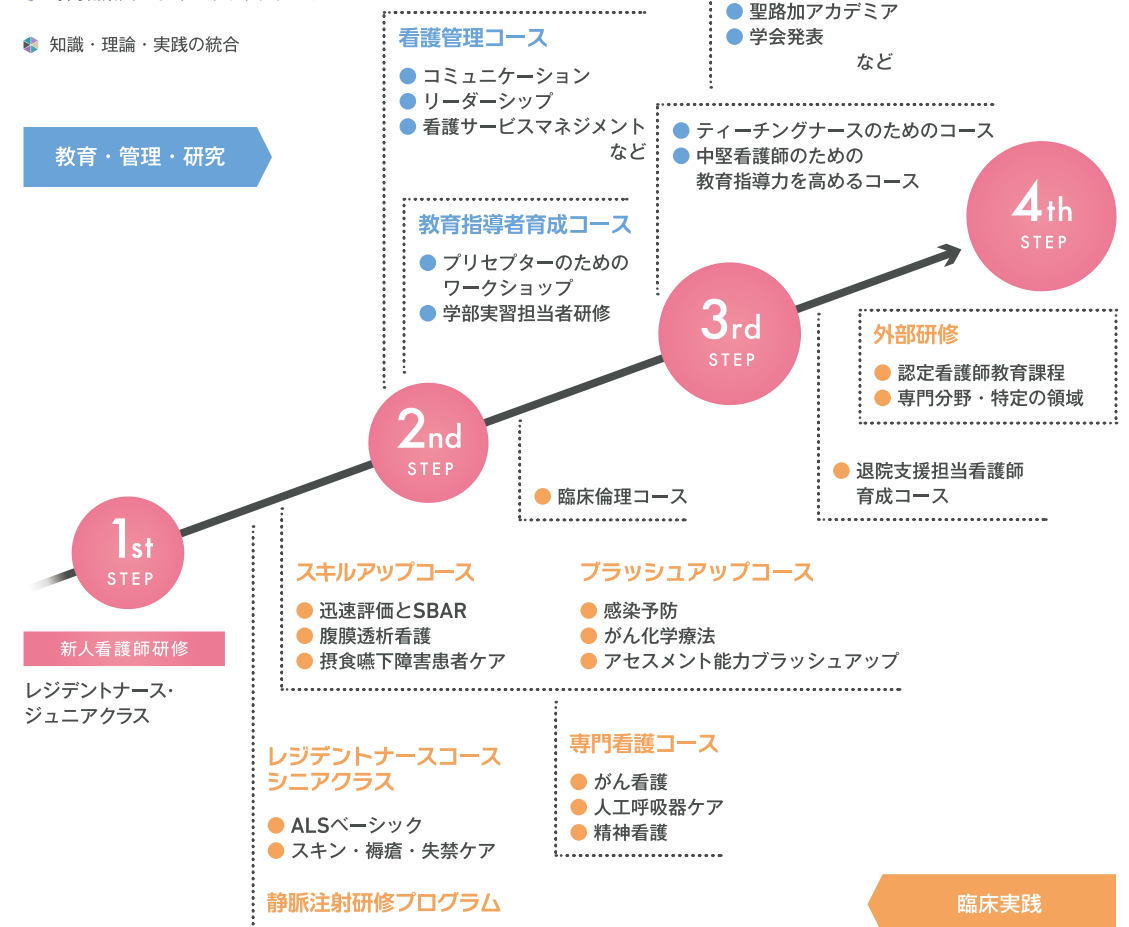
理想の看護師像へと歩んでいます。



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●オリエンテーション ●看護技術演習 ●多職種合同宿泊研修  宿泊研修での グループワーク			●災害対策	看護ケアに関すること ●コミュニケーションの基本 ●摂食嚥下障害と安全な食事介助 ●口腔ケア ●褥瘡予防 など				基本的姿勢と態度 ●看護場面における倫理 ●患者・家族心理の理解とサポート			
医療安全に関すること ●患者のまわりの安全管理 ●感染予防の基礎知識 ●検体の正しい採取方法と取り扱い ●輸液の管理 ●BLS・AED  看護技術演習 （与薬）						急性期看護に必要な アセスメントと技術 ●バイタルサインとアセスメント ●検査データの見方 ●ケアに活かす薬の知識 ●フィジカルアセスメント ●心電図の基礎 ●ベッドサイドの呼吸ケアと酸素療法 ●がんの基礎知識と治療看護の考え方など			他部署研修 ●地域包括ケアと 退院調整支援 ●医療安全 フォローアップクラス ●キャリア開発ラダー  スキルトレーニング （採血）		
新人看護師のための学習サポート（通年）											
各部署における新人研修プログラム											
プリセプターシップ			教育担当者と実地指導者による指導								
時期ごとのテーマ											
職場適応、 社会人への移行、 専門職業人としての 自覚・責任 ○新しい職場に慣れる			安全で確実な 看護技術の習得 ○先輩の指導のもとで、 手順や基準に基づく 安全・安楽な看護ができる			急性期看護に必要な アセスメントと技術の習得 ○先輩看護師のサポートを受け ながら部署によくみられる疾患 や病態を理解し、重症者や複雑な 背景を持つ患者の看護ができる ○基本的な看護技術が 一人でできる ○看護過程に基づく 看護ができる					

院内教育の目標

- 教育·管理·研究



外部招聘

大学教員や外部講師による教育研修も数多く開催しています。また、外国人講師を招聘し、講演や教育セミナーなど海外の最新の知識・技術を学ぶことができる機会もあります。



キャリア アップ CAREER UP



キャリアアップコース

聖路加国際病院では臨床実践能力のレベル(キャリア開発ラダー)に応じた多くの教育プログラムがあり、その一環として、聖路加国際大学大学院に進学し、新たな知識を身に付け臨床現場へと還元するコースが用意されています。



看護教育学上級実践(CNE)コース

病棟でプリセプターやティーチングナースを務めた後、臨床に軸足を置いた教育の専門家であり、自らも研究を行い、臨床に必要なエビデンス生成に関する能力を身に付けるコースへと進みました。それまで自分が行っていた病棟での教育を教育学の視点から見直すことができているほか、効果的な指導法などについて学んでいます。今後は今までの経験則に理論による根拠が加わり、より自信を持って指導にあたれると実感しています。



神前 亜未

5階西病棟 2006年入職
首都大学東京 東京都出身

専門看護師(CNS)コース

病棟で経験を積む中でもっと集中治療について学びたいと思い、急性・重症患者看護専門看護師の資格を取得するコースへ進みました。コンピテンシーのほか、看護理論、研究法など幅広く学んでいます。また、学外での実習を通して臨床と結びつけた幅広い視点での学習を進める日々です。専門的な知識を得たことでより細かな部分にまで目が届くようになり、根拠のある指示・指導ができるようになったと感じています。



佐藤 かおり

救命救急センター 2010年入職
聖路加国際大学 長野県出身



看護部検討会

スペシャリストが中心となり、より質の高いケアの提供のために院内への最新情報の発信などを行う検討会があります。自身の興味により自由に選択してキャリアアップできるほか、キャリア構築モデルを見つけることができます。



呼吸ケア検討会

酸素療法・人工呼吸器を装着した患者のケアなど、院内の呼吸ケアの質の維持・向上に関わる活動を行う検討会です。参加スタッフは、呼吸ケアに関する自らの知識や技術を高めるとともに、院内スタッフへ基本的な知識・技術の習得や普及のための活動を行います。呼吸ケアチームや呼吸ケアナースと協働して呼吸ケア上の問題についての解決策の検討や実践を行います。



田村 富美子

救命救急ナースマネジャー
クリティカルケア統括マネジャー
急性・重症患者看護専門看護師
東京医科歯科大学大学院



感染予防ケア検討会

感染予防の基本的知識と技術を取得し、当院の感染予防方針と手順を所属部署で周知・実践・指導することを目的とした検討会です。臨床現場における感染予防の実践のため病棟間ラウンドも行うほか、感染予防の知識普及活動としてDVD作成や院内での啓蒙活動も行っています。



浅野 恵子

QIセンター感染管理室 2005年入職
国際医療福祉大学 東京都出身
感染管理認定看護師



看護ケアに関する検討会

- 褥瘡ケア検討会
- 呼吸ケア検討会
- クリティカルケア検討会
- せん妄リンクナースの会
- 糖尿病ケア検討会
- 栄養サポート検討会
- がん治療ケア検討会
- メンタルケア検討会
- 摂食嚥下障害看護検討会
- 感染予防ケア検討会
- 在宅療養推進会議
- 口腔ケア検討会
- 認知症ケア検討会

看護管理・教育に関する検討会

- 看護手順検討会
- 看護記録検討会
- 外来看護検討会
- 看護インシデント検討会
- 教育プログラム検討会



専門・認定看護師

当院では各看護の分野ごとにスペシャリストが活躍しています。
学びを深め、認定・専門看護師の資格を取得した先輩看護師の体験談をご紹介します。



小児看護専門看護師

私の役割は、急性期や状態が不安定な子どもの患者さんのプレバレーション（心の準備）、環境を整える、ご家族への指導などがあり、月に2回ほどフリーで病棟をまわっています。資格を取得してから、組織に働きかけたりスタッフをサポートするなど、看護のケアの幅が広がりました。

小口 祐子

小児病棟 2011年入職
聖路加国際大学大学院 東京都出身



認知症看護認定看護師

私は現在、認知症の患者さんが尊厳を保ちながら治療が受けられ、生活の場へ戻れるように看護師・他職種と協働して安心・安全な環境を作る活動をしています。整形外科病棟で高齢患者のせん妄について研究を進めるうちに、認知症患者が最もせん妄になりやすいとわかったことをきっかけに、不安・混乱の中にいる患者さんの力になれないかと思い資格を取得しました。医療現場で問題行動と思われがちな認知症についての理解が広がるように日々啓蒙活動を行っています。

石原 幸子

5階東病棟 2008年入職
岡山大学 岡山県出身



専門・認定看護師

専門看護師 計15名

- がん看護専門看護師(5名)
- 急性・重症患者看護専門看護師(3名)
- 小児看護専門看護師(4名)
- 精神看護専門看護師(3名)

認定看護師 計24名+CIBC1名

- がん化学療法看護認定看護師(5名)
- 乳がん看護認定看護師(1名)
- 皮膚・排泄ケア認定看護師(2名)
- 救急看護認定看護師(2名)
- 不妊症認定看護師(1名)
- 小児救急看護認定看護師(1名)
- 集中ケア認定看護師(1名)
- 緩和ケア認定看護師(3名)
- 慢性心不全認定看護師(1名)
- 訪問看護認定看護師(2名)
- 認知症看護認定看護師(1名)
- 手術看護認定看護師(1名)
- がん放射線療法看護認定看護師(1名)
- 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師(1名)
- 感染管理認定看護師(1名)
- 感染制御・疫学(CIBC)(1名)



病棟紹介



内科系領域

血液内科、内分泌内科、心療内科

7階西病棟は、血液内科・内分泌内科・心療内科の患者さんが主として入院する病棟です。血液内科は、血液腫瘍の治療で化学療法を受ける患者さんが多く、成人病棟では唯一“造血幹細胞移植”の治療も行っています。化学療法についての専門的知識が必要ことから「がん化学療法看護認定看護師」も勤務しています。血液疾患は治療期間が長いという特徴があり、患者さんのケアも個別性・継続性が要求されます。病棟では看護師が2人でケアや治療を行う体制を導入しており、新人看護師にとっては、常に先輩のサポートが受けられ安心できる体制となっています。

東 亜季

7階西病棟 2015年入職
藤田保健衛生大学 愛知県出身



外科系領域

脳神経外科・神経血管内治療科・呼吸外科・眼科

4階東病棟は脳神経外科、神経血管内治療科、呼吸器外科、眼科と幅広い疾患に対応しており、手術前後の患者さんが入室するなど、集中治療領域とも深い関わりがあります。医師・看護師・リハビリメンバーによるチーム医療体制のなかでも、患者さんの状態変化にいち早く気付き対応する看護師は、重要な役割を担っています。新人への指導は、重症度が高い患者さんの意識レベルなどを注意深く観察する必要があるため、先輩看護師のほか医師も含めたチーム全体で勉強会を開くなどして、新人が理解を深められるよう丁寧にフォローしています。

井上 雅

4階東病棟 2014年入職
和歌山県立医科大学大学院 大阪府出身





病棟紹介

3



小児領域

小児病棟は、0～15歳までの子どもを対象とし、内科全般、小児外科、形成外科、耳鼻科、神経血管内治療科、アレルギー膠原病科など全診療科に対応する病棟です。検査(MRI)や手術に対して不安を抱く子どもには事前見学ツアーを企画・運営するなど、子どもが検査や手術を理解し前向きに取り組めるように関わっています。新人は学ぶべき領域が多いため、プリセプターが2年にわたり技術面・学習面・心理面においてしっかりとフォローを行い、年齢・疾患の異なる患児のアセスメントやケアができる力を育てています。



中原 彩

小児病棟 2016年入職
聖路加国際大学 茨城県出身

母性領域

周産期の母子とご家族を主に支援する部署で、ローリスクからハイリスクの妊娠・出産・産褥まで対応しています。病棟、LDR(Labor Delivery Recovery)、新生児室の3セクションに勤務するため、さまざまな角度から妊産褥婦の支援・ケアを継続的に行え、全体を見る力が付きます。また経験に応じて母親学級や母乳外来、助産師外来など、行う支援の幅も広がります。3セクションの業務があるため新人は覚えることが多くありますが、ゆっくり1年かけてオリエンテーションを行い、プリセプターに加えてアソシエーターも協力し、病棟全体で教育にあたっています。



津田 希

3階病棟 2003入職
群馬大学保健学科(助産師) 群馬県出身



5



救命救急領域

救命救急センターでは、成人・小児を問わず全診療科に対応するER(救急外来)のほか、蘇生後の外傷、脳神経外科、小児科、循環器内科、内科領域の治療にあたるCCMやHCUの3セクションがあり、各セクションにおける看護が必要とされます。診断前の患者さんと関わるERでは事前学習を行えないため、初めての疾患の場合には先輩看護師のフォローのもとで経験を積んでいきます。また、専門的治療と社会的な介入が求められるCCMや、個室での対応を行うHCUなど、新人は各セクションで必要となるアセスメントや家族のケア、状況把握などを学んでいきます。



中道 友梨

救命救急センター(ER) 2010年入職
横浜市立大学 広島県出身

集中治療領域

ICUは、内科・外科を問わず、呼吸や循環、代謝、そのほか重篤な急性機能不全の患者さんの対応を行う部署で、人工呼吸器・体外循環の管理や、術後・超急性期を脱した患者さんの早期離床への介入などを行っています。幅広い疾患に対する知識と高いアセスメント力が必要となるため難しい領域ですが、自分の看護の成果が患者さんの状態や表情ですぐにわかる点にやりがいを感じます。他病棟に比べ長い期間オリエンター先輩が指導をしてくれるほか、医師と関わる時間も長く臨床の疑問を相談できるなど、現場での学びが充実しています。



山崎 圭祐

ICU 2015年入職
千葉県立保健医療大学 千葉県出身



6



病棟紹介

7



手術室

外科系一般の手術を行う手術室は計13部屋あり、脳神経外科や心臓血管外科などの難しい症例や神経血管内治療(コイリング)も行っています。患者さんは小児から老年期まで幅広く、緊急オペでは重症のケースもありますが、各科の医師や麻酔科医と密にコミュニケーションを取りながら、手術と麻酔が安全に、そしてスムーズに行われるよう心がけています。実習では手術室の経験を積むことがなく、入職してからのスタートになる新人のフォローのため、スタッフ全員で新人のステップアップの状況を把握し、精神面のフォローを行っています。



齋藤 洋平
2011年入職
武蔵野大学 神奈川県出身

9



緩和ケア

身体的な症状に加え、気持ちの落ち込みなどの精神的症状、さらに死への恐怖などのスピリチュアル・ペインなどに悩まされる終末期の患者さんや、ご家族の苦痛を和らげるケアを行っています。QOLに焦点を当て症状コントロールを行い、日常ケアのほか季節のイベントをともに祝うなど“その人らしく過ごせる”ように、看護師のほかチャプレンや音楽療法士ともチームを組み、患者さんを支えています。新人研修のほかにケアスタンダードを用いた勉強会などで学びを深める場を用意するほか、面談などで新人の精神面のケアも心がけています。



南澤 ゆい
2009年入職
聖路加国際大学 千葉県出身

腎センター(透析・腎臓病クリニック)

慢性腎不全の患者さんへの血液透析のほか、安全に透析を継続していくために個性性に合わせた生活・食事指導などを実施しています。また、全ての患者さんに月1回フットチェックを実施するほか、腎臓病クリニックでは集団指導や面談を通して腎機能の維持や腎代替療法を選択する支援、腹膜透析の管理、生体腎移植のコーディネートなどを行います。学生時代に触れる機会が少ない分野のため、新人には定期的な勉強会やデモンストレーション、先輩との振り返りなどで看護を深められるように丁寧にフォローしています。



佐藤 めぐみ
2014年入職
順天堂大学 山梨県出身



8

外来系(プレストセンター・オンコロジー)

乳腺外科や腫瘍内科のほか、対象疾患はすべての悪性腫瘍などで、化学療法に関わる全診療科に対応するオンコロジーセンターでは、安全・確実な投与管理や治療中の副作用、疾患に関連する症状へのセルフケア支援、治療への意思決定支援などを行います。がんの種類・治療・化学療法レジメンを理解し、外来という短い時間内で関係性を構築したり、身体的・精神的・社会的なアセスメントを行ってケアを提供するなど、求められるものは高度ですが、新人には専門・認定看護師を含む経験豊富な先輩看護師が丁寧に指導を行っています。



立花 夏子
2003年入職
聖路加国際大学 東京都出身



10

全国から 聖路加へ

FROM ALL OVER
JAPAN

01

02

03

04

05

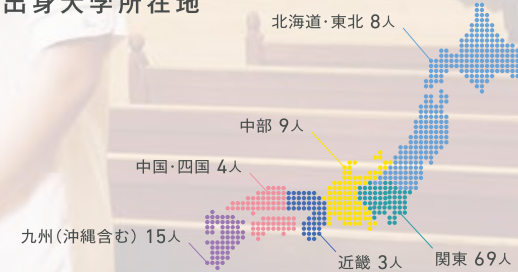
06

07

08

先輩のようになりたい。
質の高い看護を学びたい。
その想いで、日本全国から聖路加へ。

出身大学所在地



※2014年採用実績数(新卒)

01

大学のゼミの教授からの勧めで当院を選びました。都会でのひとり暮らしの不安もありましたが、仲の良い同期や他病棟の友人ができて解消でき、今は患者さんのことを第一に考える質の高い看護を学んでいます。



02

インターンシップに参加し、高いホスピタリティを持った看護師になれると感じ、地元から当院へ。新人それぞれのペースに合わせた指導や全体・部署の研修で、着実に知識・技術が身に付いていると感じています。



03

看護で有名な当院で勉強したいと思いインターンシップに参加して、目標となる先輩に出会いました。部署の手厚いサポートに支えられながら先輩のように自分を高めていきたいと思っています。



04

「基礎を育む最初の病院は聖路加」と考え、地元を離れ東京へ。最初は新しい環境に不安を感じましたが、今では様々な社会的背景を持つ患者さんと関わり、貴重な体験ができていると感じています。



05

インターンシップで出会った先輩のようになりたくて当院へ。一人暮らしの不安も先輩や同期のおかげで乗り越えられ、患者さんへの関わり方や多くの疾患など、たくさんの経験を積み重ねる毎日です。



06

看護師の母や大学の恩師から最先端の看護をしていると勧められ当院に。看護師が医師と対等に意見を交わし、患者さんのためにケアを行えるなど、非常に意識が高く成長ができる環境だと感じています。



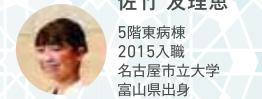
07

実習やインターンシップで出会った、患者さんの個性にあわせた看護を提供する先輩に憧れて当院に入職。優秀で尊敬できる先輩に囲まれており、常に高いモチベーションを持って働くことができます。



08

看護師だった母から当院の看護の質が高いことを聞いて「働くなら当院で」と思っていました。しっかりと成長できるように指導してくれる先輩の思いに応えられるように日々がんばっています。





臨床現場レポート！

外科系一般病棟で働くナースの一日



9:00 患者さんのケア

出勤後は受け持ちの患者さんのラウンド。ベッドサイドで体調の変化などにも目を配る。



17:00 帰宅

宿舎までは徒歩3分。買い物や友人と食事など、プライベートはゆっくりと過ごせる。

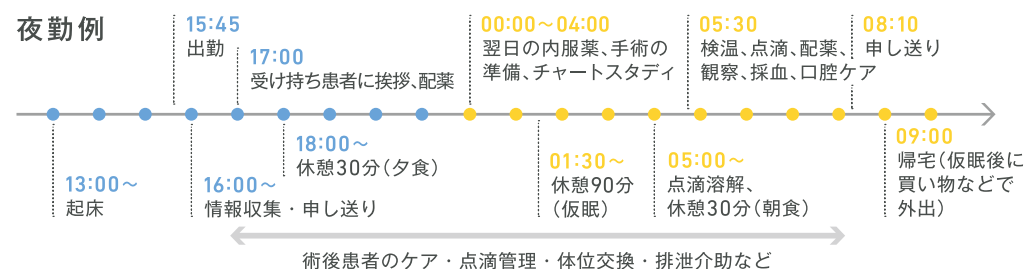


14:00 手術出し

オペを行う受け持ち患者さんを手術室まで誘導し、手術室内で受け渡しを行う。



夜勤例



福利厚生・周辺環境

看護宿舎

当院の看護職員として入職した方が受けられる福利厚生や、当院の周辺環境をご紹介します。地方から入職した方も安心なきれいな看護宿舎などもあり、安心して働くことができます。



東京出身ですが実家より通勤に時間がかからないうえ、手頃な家賃なので看護宿舎を利用しています。オフはお菓子を作ったり、同期と集まってごはんを食べるなど楽しく過ごしています。銀座まで歩いてショッピングに出かけたり、心地よい風が吹く隅田川沿いを散歩するのが気に入ります。



上戸 智美

6階西病棟 2012年入職
聖路加国際大学 東京都出身

その他



軽井沢聖路加ハウス

軽井沢にある、当院保有の保養施設です。安価にてご家族やご友人と利用できます。



職員食堂

料金一部負担で利用できる食堂。24時間稼働のコンビニエンス自動販売機やコーヒーマシンも完備。



聖路加ナーサリ

院内別館にある保育室。3歳の年度末までのお子様をお預かりします。



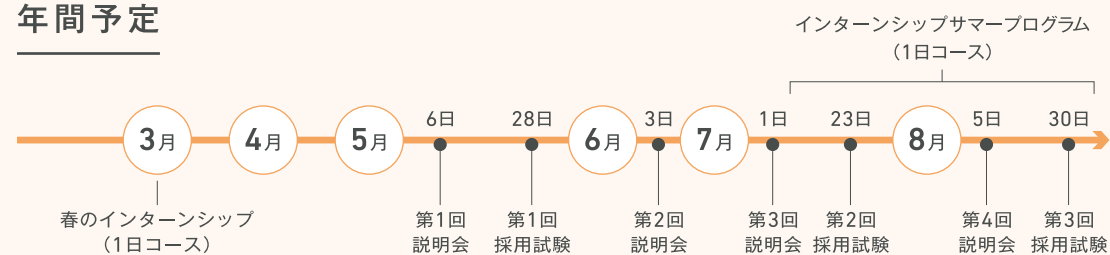
クリスマス祝会

礼拝や聖路加オーケストラによる演奏などが行われるクリスマスイベント。職員とその家族が参加できます。



インターンシップ

年間予定



1日の流れ

オリエンテーション

看護部理念や病院概要など、全体についての説明と、その後の予定について説明があります。

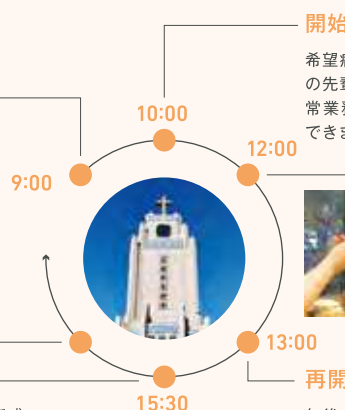
終了

インターンシップの参加証がひとりひとりに手渡されます。



情報交換会

見学後、参加者が集まって感想や意見などを交換します。参加証の授与なども行われます。



開始

希望病棟ごとに分かれ、現場の先輩についてスタート。通常業務の流れを見ることが出来ます。



ランチタイム

職員食堂で先輩と一緒に昼ごはん。栄養満点の格安ランチメニューを食べながら質問などができます。



再開

午後の業務を体験。カンファレンスに参加したり、ドクターと意見交換する様子などを見学します。



体験可能な領域とスケジュール

実施領域 ●内科系病棟／●外科系病棟／●小児病棟／●産科病棟(サマープログラムのみ)／●NICU／●緩和ケア病棟／●手術室／●救命救急センター／●集中治療室／●腎センター

日程 〈春の1日コース〉

対象：2018年3月に看護系学校を卒業予定者
日程：3月7日(火)／3月9日(木)／3月14日(火)／3月16日(木)／3月21日(火)／3月23日(木)

〈サマープログラム〉

対象：2019年3月に看護系学校を卒業予定者
日程：2017年7月11日(火)～8月31日(木)の毎週火曜日と木曜日
※1日コースです。

応募方法 ●当院ホームページ、またはナース専科 就職ナビからエントリー

※締め切り日を過ぎた場合の連絡は人事課まで



インターンシップについてはこちら



募集要項・説明会・試験スケジュール

待遇と勤務 (2017年度予定。実際は金額が変更となる場合があります)

* 主要手当は夜勤・準夜勤を含んだ概算です。(経験年数考慮)

給与	基本給	主要手当*	合計
大卒	225,400円	50,000円	275,400円
専門卒	201,200円	46,000円	247,200円

その他手当 ●時間外手当、通勤手当、扶養手当、住宅手当

昇給 ●年1回

賞与 ●年2回

勤務体制 ●変則2交代または3交代制

休日 ●完全週休2日制(交代制)

休暇 ●有給休暇(初年度10日)、夏期休暇、年末年始休暇

保険 ●雇用保険、労災保険、私学共済加入

被服 ●ユニフォーム貸与

宿舍 ●全室冷暖房完備ワンルームマンション

福利厚生 ●保養所(軽井沢)、託児施設、病児保育室

募集要項

募集職種 ●看護師

募集人数 ●80名

応募資格 ●上記の資格を有する者、または取得見込の者

応募書類 ●1.履歴書

(写真貼付、履歴書上部に試験希望日を明記)

2.成績証明書

3.卒業見込証明書

4.健康診断書

5.自己PRと「聖路加国際病院でやりたいこと」800字以内(書式自由)

6.有資格者は免許写真しも同封

選考方法 ●適性検査、面接

書類送付先 ●〒104-8560 東京都中央区明石町9-1

聖路加国際病院 人事課宛

看護フォーラム・説明会・採用試験(2016年実施)

看護フォーラム(合同就職説明会)			
地域	日時	会場	主催
博多	2/4(土)	博多スターレーン	ナース専科就職ナビ
東京	2/11(土)	東京ビッグサイト	ナース専科就職ナビ
東京	3/4(土)	東京ドームシティ	ディスコ
札幌	3/11(土)	札幌コンベンションセンター	ナース専科就職ナビ
東京	4/8(土)	東京ビッグサイト	ナース専科就職ナビ

説明会 10:00-12:30 (会場) 聖路加国際病院			
第1回	5/6(土)		
第2回	6/3(土)		
第3回	7/1(土)		
第4回	8/5(土)		

採用試験 (会場) 聖路加国際病院			
第1回	5/28(日)	5/15(月)	申込締切
第2回	7/23(日)	7/10(月)	申込締切
第3回	8/30(水)	8/18(金)	申込締切

アクセス

〈所在地〉

〒104-8560 東京都中央区 明石町9-1

〈地下鉄〉

東京メトロ日比谷線 築地駅下車(3・4番出口)、徒歩7分
*エレベーターは2番出口にあります
東京メトロ有楽町線 新富町駅下車(6番出口)、徒歩8分
*エレベーターは1番出口にあります

〈バス〉

東15番一東京駅八重州口 深川車庫行 聖路加病院前下車





✿ 採用に関するお問い合わせ(人事課) ☎ 03-5550-7065 ✉ human@luke.ac.jp

✿ ホームページ 💻 <http://hospital.luke.ac.jp/>